

令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・どの学年でも、ICTを効果的に活用して学習に対する関心・意欲を高めたり、課題について考えを書き、話し合いをしたりするなどの学習を工夫することで、基礎・基本を身に付けさせることができた。
- ・漢字学習では反復練習を継続して行ってきたことで、新出漢字が定着した児童が増えた。
- ・スピーチの内容を自分の言葉でまとめたり、簡単にメモしたりする活動を日常的に行ってきたことで、相手に伝わるように話すことができるようになってきた。

(2) 課題

- ・「主体的に取り組む態度」に課題がある。学習課題について、最後まで粘り強く考え解決できるように指導していく必要がある。
- ・「知識・技能」において、目標値を下回っている学年が見られた。引き続き漢字や語句、文法等の学習を繰り返し、定着させるように指導する必要がある。
- ・物語の読み取りや、説明文の読み取りにおいて、目標値を下回っている項目が多く見られた。叙述に即して考えることができるように指導する必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	達成率-0.9		
第5学年	達成率-0.9	達成率±0（第4学年時）	
第6学年	達成率+1.0	達成率±0（第5学年時）	達成率±0（第4学年時）

(2) 分析（観点別）

① 4年生

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能は目標値を下回っている。 ・漢字の読み書きが若干目標値を下回っている。 ・ローマ字表記の理解について課題がある。 ・主語と述語の関係の理解について課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」については、目標値を上回っている。相手に伝わるように、自分の考えを、理由を挙げながら話すことができている。 ・「書くこと」については、目標値を下回っている。指定された長さで書くことや自分の考えを明確にして文章を書くことに課題がある。 ・「読むこと」については、物語文、説明文ともに目標値を下回っている項目が多い。叙述を基に文章の内容を捉えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語に対しての主体的に学習に取り組む態度は、目標値を下回っている。

② 5・6年生

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能は目標値を若干上回っている学年と下回っている学年がある。 ・漢字を書くことや連用修飾語の理解に課題がある。 ・漢字の由来、対義語、ことわざの意味や漢字辞典の使い方については目標値を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」については、目標値を上回っている。 ・「書くこと」については、目標値を下回っている。指定された長さで文章を書いたり、段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いたりすることに課題がある。 ・「読むこと」については、物語文の読み取りについては若干下回っている。説明文の読み取りについては若干下回っている学年がある。物語文では、登場人物の心情について描写をもとにとらえたり、文章を読んで感じたことや考えたことを共有したりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語に対しての主体的に学習に取り組む態度は、目標値を下回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 1・2年生

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字は、音訓両方の読み、それを使った言葉や短文作りの学習をすることで文章の中で正しく使えるようにする。漢字学習は継続して反復練習をする。 ・主語と述語についての理解を深めるように日常的に指導していく。また、実物と言葉を結び付けながら、語彙を増やす活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」については、相手を見て話を聞き、順序に気を付けて聞いたり話したりできるようにする。ペア学習を活用し、話し方・聞き方の定型を指導する。 ・「書くこと」については、身近な事柄を簡単に説明する文章を書かせることで、抵抗感なく書くことを習慣にする。簡単な文章構成メモを作り、読み手を意識して順序よく文章が書けるようにする。例文を示し、より良い書き方について話し合わせる。 ・「読むこと」については、時間的な順序を考えながら場面の様子を想像して場面に合った音読ができるようにする。物語の設定を確認させ、あらすじを短い文でまとめることができるようにする。本に親しみ、友達に紹介する学習も取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせの時間を充実させ、読書意欲を喚起する。 ・感想を述べたり、紹介文を書いたりして、互いに本に親しむようにする。 ・日常の出来事や考えと理由について書く習慣を付ける。 ・なかなか書くことができない児童については、友達の文章を参考にさせたり、教師が手本を示したりして、短文が長文になるよう指導する。

(1) 3・4年生

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字指導を繰り返し、確実に書けるようにし、漢字テストで合格できるように指導する。 ・国語辞典や漢字辞典を日常的に使用し、使い方に親しませる。 ・自主学習やタブレット端末への入力等を通して、日常的にローマ字の読み書きを復習させる。 ・語彙を増やすためにも読書活動を多く取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」については、話の中心や相違点・共通点を考えながら聞くために、メモの活用や話し合う機会を増やす。適切な言葉で話すように日常から指導する。 ・「書くこと」については、指定された長さで書いたり、はじめ・中・おわりの構成を意識して書いたりする機会を増やす。書く相手や目的を明確にしながらかくように指導する。推敲を児童自身でできるように指導する。 ・「読むこと」については、繰り返し音読させ、課題に対して自分の考えをもつ際に、どの言葉から考えたのかを叙述を基に指摘できるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習や読書の時間を有効に使い、物語文や説明文に関する本に親しむ機会を多くする。 ・楽しくて興味もてる題材を与え、書くことに対する関心を高めるとともに、自分の考えや思いを書けるように指導する。 ・ICTを効果的に活用し、課題について話し合いをするなどの学習を工夫して関心・意欲を高めていく。

(2) 5・6年生

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きは反復練習を継続する。漢字テストで自分が立てた目標を達成できるように指導する。 ・熟語などは意味を考えながら覚えさせ、学習した漢字を作文やプレゼンテーションなどで活用するように指導する。 ・敬語については、日常的に意識させる。 ・語句の役割や主述関係・修飾・被修飾関係などは場面を適切にとらえて繰り返し指導する。 ・連体修飾語、連用修飾語、指示語について、今後も指導を強化していく。 ・辞典を活用しながら語彙を増やし、作文に活用させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」については、スピーチの内容を自分の言葉でまとめたり、簡単にメモしたりする活動を日常的に行う。大事なことはメモを取りながら聞くことを習慣化させ、共通点や相違点を意識させる。 ・タブレット端末を使い、自分が話している様子を客観的にとらえさせ、より良い話し方ができるように工夫する。 ・「書くこと」については、文章の構成・記述の仕方を重視し、自分の考えと理由を明確に書くようにさせる。自己推敲・相互推敲させ、助言し合うように指導する。 ・「読むこと」については、いろいろな種類の本を目的に応じて読むように指導する。説明文では、大切な段落について、中心となる語や文を見付けて要約する指導をする。物語文では、あらすじや登場人物の関係を捉え、登場人物の心情を、描写をもとにとらえられるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の時間を継続するとともに、図書室を積極的に活用させることを通して読書の楽しさを感じるようにする。 ・新聞の記事などを題材に朝のスピーチを有効的に活用して、「話すこと・聞くこと」学習に関心を高めるように努める。 ・ICTを効果的に活用したり、課題について話し合いをしたりするなどの学習を工夫して関心・意欲を高めていく。